

## 新型コロナウイルスに負けない！ — 地域医療の崩壊を防ぐために —

2月に横浜港に接岸した大型客船ダイヤモンドプリンセス号では、700名を超える陽性者が確認され、その搬送先が課題となりました。新型コロナウイルスがどのようなウイルスか、未知な部分も多い中、当院は発生直後から重症者を多数受け入れ、積極的に患者さんの治療にあたりました。

その後も当院は「神奈川モデル」における高度医療機関として新型コロナウイルスの重症患者対応と一般診療の両立を図って参りました。



新型コロナウイルス感染症対応について、「神奈川モデル」における当院の役割や、地域医療を支えるための取り組みをご紹介します。

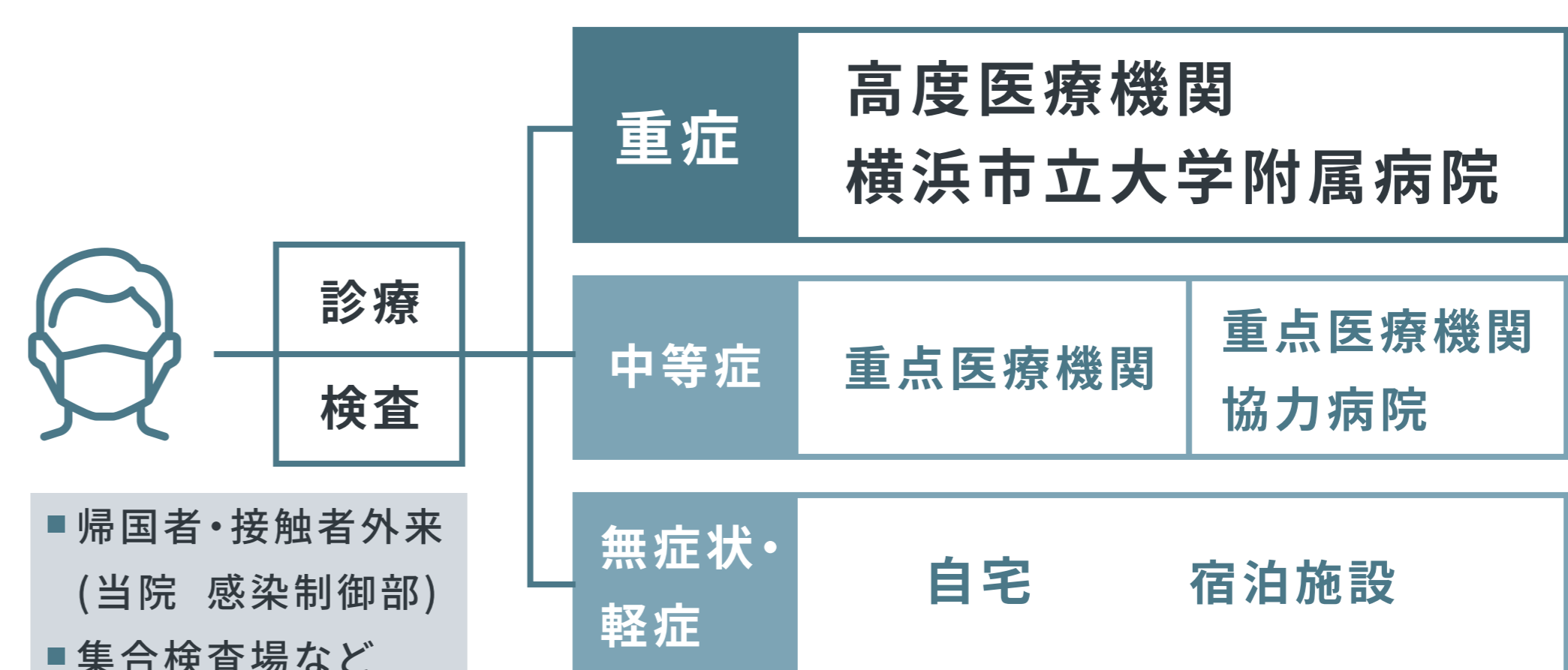
### 「神奈川モデル」の要としての役割

神奈川モデルでは重症患者数、中等症患者数の規模を目安にフェーズに応じた医療提供体制を構築しており、当院では感染者数に合わせて、ベッド数の増減を行っています。

地域医療の崩壊を防ぐために、患者さんの症状に応じて、他の医療機関や宿泊施設等と役割分担をしています。

重症(人工呼吸/ECMO)	救命救急センター等 高度急性期・急性期病院
中等症(酸素投与+α)	重点医療機関、 重点医療機関協力病院
無症状・軽症(酸素投与不要)	自宅・宿泊施設

当院では、重症患者さんを受入れることによって、中等症を診療する重点医療機関をサポートしています。



横浜市立大学附属病院  
病院長 後藤 隆久

#### 「凡事徹底」で安心・安全な病院を作ります！

新型コロナ感染症に対する決定的なワクチンや治療薬・治療法はまだ研究開発途上ですが、「手洗い」「マスク」「体調管理」など、誰にでもできること(凡事)を全員で間違いなくやれば(徹底すれば)感染を効果的に防げます。

横浜市大は一丸となって「新型コロナ」に負けない取り組みを進めています。このパネルでは、その取り組みの一部をご紹介します。

#### 市民が心から頼れる病院として

病院理念である「市民が心から頼れる病院」として、新型コロナウイルス感染症の対応と一般診療の両立を図ってまいりました。

医師、看護師をはじめ、検査部ではPCR検査体制の充実、薬剤部では治療薬の確保、放射線部ではCT検査体制の充実、リハビリテーション部では回復期訓練、事務職員も資機材の確保や病院入口での検温の実施などに対応しています。全職員が心一つにして、これからもコロナ禍に立ち向かって参ります。



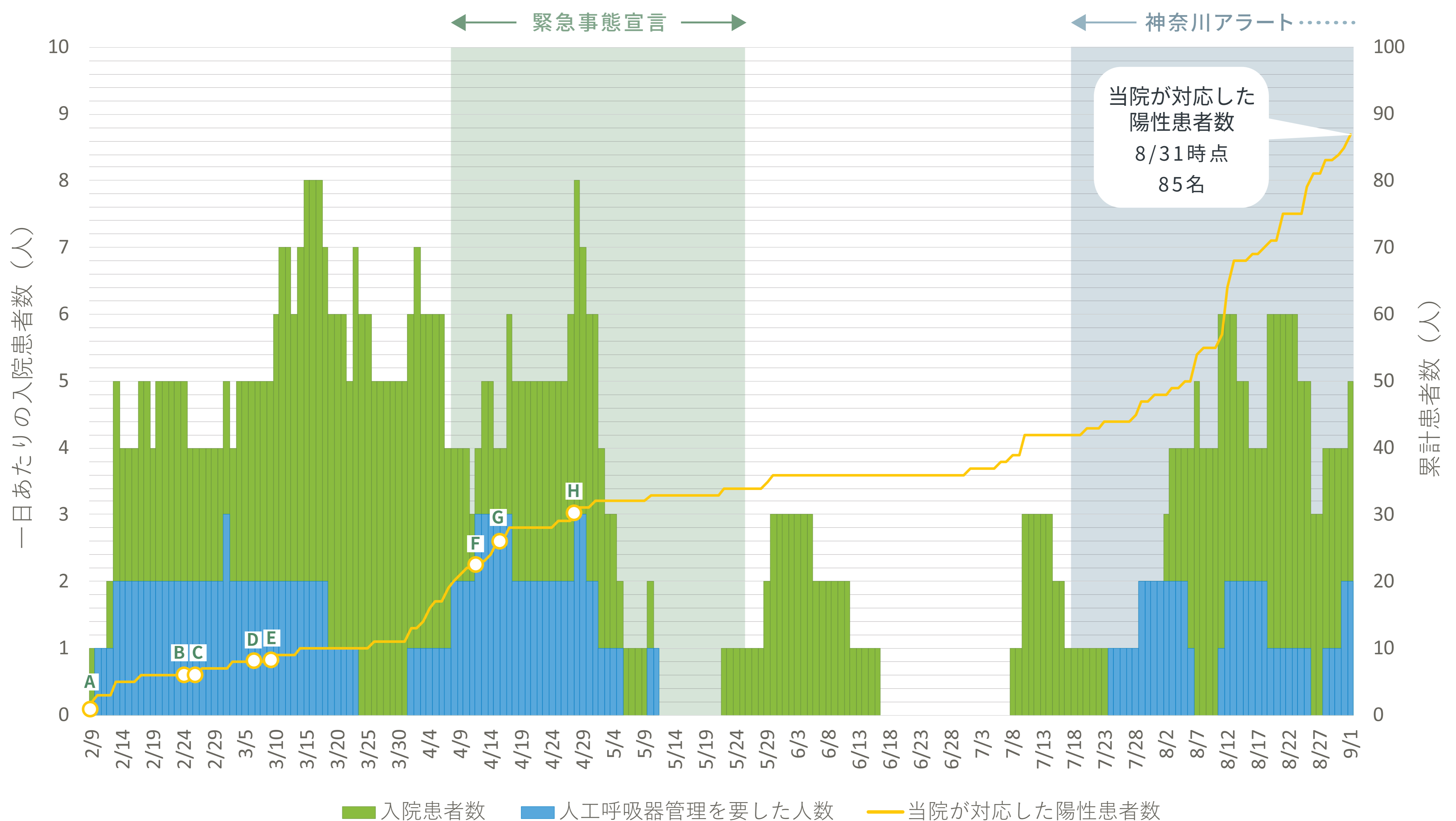
横浜市立大学附属病院  
副院長・看護部長 濱崎 登代子



## コロナとの闘いの軌跡

当院ではクルーズ船接岸の初期から現在に至るまで、高度医療機関として新型コロナウイルスの重症・中等症患者さんに対する治療にあたっています。

### 当院で診療を行った新型コロナウイルス感染症患者さんの数



- |                       |                                 |
|-----------------------|---------------------------------|
| A クルーズ船から1例目の陽性患者受け入れ | E 病院内でPCR検査を開始、電話による診療・処方箋の対応開始 |
| B 一部病床をコロナ専用病床に変更     | F CT撮影装置1台をコロナ専用に変更             |
| C 陽性の妊婦患者の受け入れ態勢を整備   | G コロナ対応医療チームを発足                 |
| D 陽性の小児患者の受け入れ態勢を整備   | H 集中治療室の一部を個室に改装                |



#### 診療にあたっている救急科・ 感染制御部・集中治療部のスタッフより

当初は、新型コロナウイルスが「どんな病気なのか」、「どうしたら感染するのか」分からないことも多く、不安や恐怖を感じていました。しかし、医療職としての使命感、多職種による協力、家族の支え等によって立ち向かってきました。これからも院内スタッフが「One Team」となって診療にあたって参ります。

#### 8月末までの 診察数の合計

**疑い患者数**  
**264名**

**入院患者数**  
**35名**



## 安心して医療を受けていただくために ～正しく恐れ、侮らず、闘っていく～

当院は、新型コロナウイルスに対応するため、施設改修や医療人材の育成など、多岐に渡る対策を講じております。医師・看護師はもちろん、検査・放射線・医療機器・リハビリ等の専門職（コメディカル）や清掃・警備・事務等のスタッフが日夜最前線で闘っています。当院におけるコロナ対応の一例をご紹介します。

### 施設改修等の対応

- 施設改修やゾーニング  
(感染エリアとクリーンエリアを分ける対策)
- 発熱患者用 診察スペースの整備
- 感染症患者の待機用屋外テントの設置
- 職員による陽性・疑い患者の導線確保



例：感染対策のための間仕切りを設置



### 専用病床の確保

- 一部病棟の閉鎖等による  
新型コロナウイルス感染症専用病床の確保

### 新型コロナウイルス感染症 対策専任チームの設置

- 新型コロナウイルス感染症を診療する  
部門横断的医師チームの編成
- 専用病床運用のための職員異動や医療人材育成
- 全職員へのオンライン勉強会の実施



診療にあたる医療従事者

### 診療体制の確立

- 院内PCR検査の確立
- 新型コロナウイルス専用 CTの運用
- 診療機材や感染防護具等の確保・管理
- 各種シミュレーションやマニュアル作成等による職員教育





## コロナを持ち込まない・拡げない！

皆さまのご協力により、8月末日現在、院内クラスターは一度も発生しておりません。今後も安心してご来院いただけるよう病院スタッフ一丸となって、医学的根拠に基づいた感染対策を講じて参ります。

### ウイルスの持ち込み防止策

- 入館時の検温
  - アルコール消毒液の設置
  - 入院患者さんに対するPCR検査
  - ご家族等によるご面会の制限
  - 電話診療の実施
- 等



### ウイルスの拡大防止策

- 施設改修やゾーニングの実施
  - 飛沫防止シートやアクリル板の設置
  - 院内各所の定期消毒の実施
  - トイレのエアタオルの廃止
- 等

### 病院スタッフの対応

- 全病院スタッフを対象とした感染対策研修の実施
  - スタッフの休憩時間の分散および休憩場所の確保
  - 院内外の会議の縮小・オンライン化
  - 検温を含めた健康管理の徹底
- 等



### 感染制御部より患者さんへの御礼とお願い

日頃より、当院の感染対策についてご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。引き続き、次の事項にご留意ください。



受診日にはご自宅で検温をお願いします



発熱がある場合は、外来受付宛にご連絡ください



入館時の検温・手指消毒にご協力ください



マスクの着用をお願いします



感染制御部



## 最先端の研究でコロナに立ち向かう！

当院では「大学病院」として、基礎研究と臨床の現場が協力して最先端の研究を行っています。



### 日本初「新型コロナウイルス回復者専用抗体検査」を実施

臨床統計学の山中竹春教授らは、2020年8月より、新型コロナウイルスに感染し回復された方々を対象に、抗体測定の意味を明らかにする大規模な研究を日本で初めて実施しています。

コロナ回復者専用抗体検査PROJECT 特設サイト



### 新型コロナウイルスを検出できる技術の確立

微生物学の梁明秀教授を中心とした共同研究グループは、新型コロナウイルス感染症患者血清中に含まれる抗ウイルス抗体の検出に成功(2020年3月)。これにより、新型コロナウイルスの罹患歴を判定する研究・技術が大きく前進しました。

さらに、同教授らのグループは、新型コロナウイルスの抗原を特異的に検出できるモノクローナル抗体の開発に成功(2020年4月)。これにより、新型コロナウイルスだけを検出できる技術を確立することができました。



りょう あきひで  
**梁明秀 教授**

患者血清中に含まれる  
抗ウイルス抗体の検出に  
用いられる研究用試薬キット



### CT搭載車での新型コロナウイルス肺炎の迅速診断の実施

放射線診断学の山城恒雄准教授を中心として、新型コロナウイルス肺炎が疑われる患者さんを速やかに診断するためにCT搭載車(モバイルCT)を活用する研究が行なわれています。このモバイルCTは、地域のニーズに合わせて移動させ、専門医が遠隔で読影することも可能です。



やましろ つねお  
**山城恒雄 准教授**



外観



内観



## 皆さまへの御礼

当院の新型コロナウイルス感染症の対応や感染対策等について、  
ご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。



### 患者さんと共に・・・

面会の制限や治療の延期、病床再編に伴う転棟、電話診療への切り替え等、患者さんやご家族の方々のご協力により、当院の感染対策は成り立っております。

コロナ禍の難局は、患者さんと医療者が二人三脚で立ち向かわなければ乗り越えることが出来ません。引き続きご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

### 応援ありがとうございます！

患者さん、市民の皆さま、企業および卒業生の方々より、心温まる沢山のご寄付をいただきました。皆さまのお心遣いに心から感謝申し上げます。

#### いただいたご寄付の一例

- コロナウイルス緊急基金へのご寄付
- サージカルマスク等の感染防護具
- 吸引機等の医療機器
- 生活用品やお菓子
- フードトラックによるお弁当 等



### ご支援・ご寄付のお願い

#### 新型コロナウイルス緊急対策基金について

横浜市立大学では、市民の皆さまからご支援のお申し出を多数いただいていることから、「新型コロナウイルス緊急対策基金」を立ち上げました。

寄附金は、附属病院の施設改修、医療機器や感染防護具の購入等、診療機能の拡充や医療従事者への支援といった新型コロナウイルスへの対応に活用させていただきます。



新型コロナウイルス緊急対策基金サイト